

裏面白紙

二月十六日(月)

(大正五年)

方

西

20

一 新法制局長官挨拶

一 佐藤司長挨拶

一 滝川次長挨拶

一 曾彌次長挨拶

連絡の事

聊事は海外では協定ありものとする

内務省庁舎、人手を手を合使用の件

赤坂雑居——最多数制所庁舎——旧日の出来事

旧着高裁制所跡、内務省跡——口有跡、旧日、

旧日の関係に出ない

(司長官) GHQと話し、日中政府に使はれり、司長官

挨拶する、及る裁判所の跡、地籍を所いさす

内閣

日本標準規格 B5 (十四行罫)

山田忠吉 弁言

官庁の事務のため銀行より派遣された人の件

去年の暮 名小とある。別荘会館のこともその人をやりこめたりは困る。土階の人は厚長にたがふ。すじやめさむのほやめさむい。このこともおのねはるるぬものほ運送さし入る。1/100

別荘会館のことは通法いはいはあす。

(外) 自らの子供が地所高い御さぬ。

(特) 特別調達所にもぬ。

地方委員の件は小江の地所(内)の事(官)

岡谷はいかにする。GHQとも打合の要がある。

物さす。根拠は何か。(浦助殿) 父子親の關係あり

(清川) 知事会館の件は地所よいかいにか

(四) 二十五年は浦佐一たい

内閣

裏面白紙

(大) 岡成決定して官舎古瓦よりあてはよむはあつた
 (曾) 前田報言より向うに交けするまゝに岡成のりんは
 一井手^り法制のち長挨拶
 (鬼) 浦州職員の整理は各者と打合ふこととさした
 (内) 大都市のちの園よ
 一大阪公算^り算言
 0.8 は金 Killa に活す 此より口念に信すようはあつた
 土に雨あつても今も活のつらぬ 四走が支障あるもの
 ある 自由意のみあつたぬ 今日中にまじりたぬ
 十一日^り十九日に折あよりにいふ 大阪者はすてり
 日よ^り南^りも折あよりにいふ
 (物) 物もあつたあつた

内閣

日本標準規格 B5 (十四行書)

裏面白紙